

日本 から約 8800キロ、遠く離れたデンマークの地で、セラミック
 スペシャリストを目指す日本人 女性 がいます。武田佳 那美(たけだ か
 なみ)さん(28)。彼女はRoyal Danish Academy of Fine Arts, School of
 Design Bornholmで陶芸 デザインを3年間 勉強 した後、現在
 フリーランスとして活動 されています。

デンマーク留学 中 の生活 や彼女の作品 つくり、そして彼女 自身
 について先日 インタビューさせて頂きましたので、今日はその内容を
 お伝えしたいと思います。

?武田さんの自身の事 について簡単 に教えてください

わたし おおさかだいがく そつぎょう
 私 は大阪大学 を卒業 し、2011年 9月 よりRoyal Danish Academy of
 Fine Arts, School of Design Bornholm陶芸 科で3年間、陶芸 家になる為
 の勉強 をしていました。現在は去年 の6月にこの学校 を卒業 し、
 フリーランスとして活動 しながら、デンマークで作品 作りをしてい
 ます。

?デンマークで陶芸 の勉強 とは素敵ですね♪でもなぜ、留学 先に
 デンマークを選んだのでしょうか？

がくぶ せい とき
 大学 の学部生 の時に「ホルベックホイスコーレ (Kunsthøjskolen i
 Holbæk) 」というデンマークにあるフォルケホイスコーレに短期留学
 した事がきっかけでした。私 は「北欧 デザイン」に興味 があった為

えら りゅうがく じゅうこう とうげい
 、この学校を選んで留学してきたのですが、受講していた「陶芸
 じゅぎょう たの じゅぎょう つく さくひん
 デザイン」の授業がとても楽しくて。また、授業で作った作品を
 てんらんかい はんばい きかい さくひん
 展覧会で販売する機会があったのですが、その時に自分の作品を
 こうにゅう うれ じゅうじつかん
 購入して下さった方がいて、その時の嬉しさや充実感がすごく
 いんしょう のこ とうげい じゅぎょう たんとう せんせい
 印象に残っていました。さらに陶芸の授業を担当していた先生が
 ひじょう すば
 「この人みたいに生きたい！」と思える非常に素晴らしい方で。その
 せんせい う えいきょう じぶん なに こんご い
 先生から受けた影響が、自分が何をしたいか、今後どう生きたいか
 あらた きじゆん すす
 改めて考える際の一つの基準となったと思います。その先生に進めて
 りゅうがく
 もらったのが、留学していた「Royal Danish Academy of Fine Arts,
 そつぎょう た ため
 School of Design Bornholm」でした。卒業後はお金を貯める為に1年
 ほど はたら しんがく
 程日本で働いていましたが、その後この学校への進学しました。

まな すご
 ?大学生の時からデンマーク語を学んでいたとは凄いですね。でもなぜ
 まな おも
 デンマーク語を学ぼうと思ったのでしょうか？
 せんこう がっか ひつす と
 実は私、大学の専攻は「日本語学科」で、デンマーク語は必須で取ら
 だいに げんご じゅぎょう かこくご
 なければならない第二言語の授業で勉強していたんです。25カ国語
 なか ちゅう きょうみ も げんご き こと でき さいしゅう
 の中から中々興味を持てる言語を決める事が出来なくて、、、最終
 てき き ごと
 的にあみだくじで決めたのが「デンマーク語」でした。

えら
 あの時、この言語を選んでいなかったら今の私はないので、ある意味
 うんめい
 デンマーク語を勉強する運命だったのかもしれないね。

ぐうぜん であ りゅうがく みち みちび
 ?デンマーク語との偶然の出会いが、デンマーク留学への道を導いて
 りゅうがくさき
 くれたのですね！留学先の学校ではどのような勉強をされていたの
 でしょうか？

しょぞく とうげいか じゅぎょう ちゅうしん
 私の所属していた陶芸科コースでは、授業はプロジェクトが中心
 じぶん さくひん つな
 で、どうやって自分のアイデアを作品へ繋げるのかというプロジェクト
 ほうほう まな こと
 のプロセスやアイデアデベロップメントの方法を学ぶ事がメインの
 カリキュラムになっていました。

ないよう ひつよう おう じつぎ じゅぎょう
 プロジェクトの内容の必要に応じて、実技の授業がありますが、
 じゅぎょうない ぎじゅつ おし
 授業内ではとてもベーシックな技術のみしか教えてもらえません。な
 じつぎ ほう じぶん せんぱい ほうかご
 ので、実技の方は自分で先輩や友達、先生に聞きに行ったり、放課後
 しゅうまつ ちょうせん ほうほう じしゅ てき おこな
 や週末に自分で色々挑戦してみたりという方法を自主的に行わ
 じょうたつ ため うご さくひん つく
 ないと上達しない為、自分で手を動かして、作品を作っていた時間の
 し など ふく ざ
 方が多かったと思います。その他にデザイン史等のレポートを含む、座
 がく べんきょう きかい
 学を勉強する機会もありました。

じぶん しゅたい まな うけみ じゅぎょう
 ?「自分主体の学び」は受身の授業になれている日本人にとっては
 とまど こと たくさん りゅうがく ちゅうたいへん など
 戸惑う事も沢山ありそうですね。留学中大変だったこと等はあり
 ましたか？

かだい とし やくよん かい ほどだ ひょうか わる
 課題は年に約4回程出されるのですが、1回でも先生の評価で悪い
 てんすう りゅうねん たいがく ため さくひん
 点数をとってしまうと、留年または退学になってしまう為、作品
 づく たいへん がっこう せつび しょこく なか
 作りがとても大変でしたね。しかし学校の設備はヨーロッパ諸国の中

ゆびお ほど じゅうじつ いろ さくひんづく ちようせん
 でも指折りな程、充実 しているので、色々な作品 作りに挑戦 する事
こうない こうぼう じかん つか ため せいと たち せいさく
 が出来ました。校内 にある工房 は24時間使える為、生徒達 が制作
さぎょう ぼつとうでき かんきょう ととの ありがた
 作業 に没頭 出来る環境 が整っていたので、それは有難かったです。
ごがく かべ さいしょ くる にゅうがく
 あとは、「語学の壁」に最初 は苦しめられました。私 が入学 した
とうしょ じゅぎょう すべ ご おこな じゅぎょう ないよう
 当初 は授業 が全てデンマーク語で行われていたので、授業 の内容を
りかい さいきん た こくせき せいと
 理解することに時間がかかっていましたが、最近 は多国籍 な生徒が
ふ じゅぎょう おこな
 増えたという事もあって、授業 のほとんどが英語で行われるように
じゅぎょう う
 になりました。英語で授業 が受けられる様になったのは、外国 人生徒
 にとってとてもプラスなことでしたね。

ざいがくちゆう たくさん さくひんづく おこな がっこうせいかつ
 ?在学中 に沢山の作品 作りを行っていたのですね。学校 生活 で一番
いんしょう のこ
 印象 に残ったことはありますか？

さんか
 1年生 の時に参加させてもらったクリスマスマーケットです。これは
せいと
 コペンハーゲンにあるキャンパスでデザインスクールの生徒のみが自分
さくひん しゅつぴん
 達の作った作品 を出品 できるマーケットだったのですが、自分の
さくひん かわい どうぜん
 作品 を可愛いと言って買ってきてくださる人が沢山 いて。自分の子供同然
さくひん みと か うれ
 の作品 が、認められて買ってもらえる事がとても嬉しかったです。
さくひん せいさく はんばい どうぜん
 作品 を制作 するだけではなく自分で販売 することで、自分の子供同然
さくひん えがお さくひん ほ い
 の作品 を見て、笑顔になってくれたり、私 の作品 を欲しいと言って
くだ でき つな
 下さる方に会うことが出来て、それが大きなやりがいに繋がりました。

そのマーケットをきっかけに個人的にオーダーを頂いたり、新作の
 問い合わせを頂く様になり、現在ジュエリーを中心としたプロダクト
 の制作行っています。作品数も増え、二年目にはデザインショップで
 の取り扱いも開始し、現在は美術館のショップをはじめ、デザイン
 イベントやクラフトマーケットで販売したり、自分のHPでも紹介さ
 せて頂いています。

?学校を卒業された今は何をされているのですか？

学校は去年の6月に卒業したのですが、その後はデンマークの
 アーティストの元でプロジェクトメンバーとして働いたり、オランダに
 ある若手デザイナーのスタジオの手伝いしつつ、自分の作品の制作を
 させてもらってました。先日までは、「セラミックリサーチセンター (International Ceramic Research Center Guldagergaard)」に滞在し、
 世界中から集まってきている若手アーティストと一緒に作品作りを
 行っていました。それぞれが自身の作品を作り、その作品をお披露目
 する展示会を最終的に行うというプロジェクトに参加していたのです
 が、周りの優秀なアーティスト達に良い刺激を受けながら作品作りが
 出来て、とても良い経験になりました。このメンバーとは「11」
 というグループ名で、今後も様々な活動を続けていくつもりです。

?今後のビジョンはありますか？

まな デンマークでさくひん学んだことをさいだいげん最大限にい活かして、にっぽん日本にはさくふうない作風の
さくひん作品をつく作る「セラミックスペシャリスト」になりおもたいと思っています
げんざい。現在は、りょういきコンセプトアルクラフトというてんらんかい領域でのげんざい展覧会や
かつどうアーティストインレジデンスなどのとうじき活動とかつどう陶磁器のとうげいプロダクト、
せいさくジュエリーのちゆうしん制作をかつどう中心にとうげい活動していますが、そ陶芸をせいさく初めた
そだデンマークとにっぽん育ったりょうほう日本のぶんか両方てきしてんのとお文化的さくひん視点を通したせいさく作品を制作
わたしできるのが、つよ私かんがの強みだとかんが考えています。
などビザ等のもんだい問題はやまづ山積みでふあん不安なこともおお多いですが、げんざい現在はげんざいこのまま
かつどうヨーロッパでのつつ活動をかんが続けておおいきたいとほう考えています。より多くの方
さくひんに作品をいただみてよう頂けるおうえん様、くだ応援してかたがた下さるせいりよくてき方々のためにも、せいりよくてき精力的に
かつどう活動をつつ続けてつついきたいですね。

にっぽんまた日本のとうげい陶芸さくひん作品はたいへん大変にんき人気がありますほくおうが、て北欧ではてまだ手に
はい入りにげんじょうくいのかいがいのがてんじ現状かいなどです。さんか海外のけいけん展示会等けいけんに参加してきたけいけん経験を
い活かして、こんご今後、にっぽん日本のかまもと窯元ひろがひろヨーロッパにひろマーケットをひろ広げていく
さい際のお手伝いをするよう様なかつどう活動おももしたいと思っています。

いこくデンマークというち異国のごがく地で、ぶんか語学や文化のちが違いにとまど戸惑いながらもじぶん自分
さくひんづくの作品つつ作りをたけだ続けてきたこんご武田さん。にっぽん今後日本にはにっぽんない、にっぽんデンマーク
とうげいスタイルのにっぽん陶芸をはっしんどのようにはっしん日本にはっしん発信してはっしんいってくれるのか、
たのとてもたけだ楽しみになるようなたけだインタビューでした。武田さん、

インタビューにご協力 きょうりよく いただき ありがと 頂き有難うございました。 こんご 今後のご活躍、
きたい 期待しております！